

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：ニチイキッズ美しが丘保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：小池 雄一	定員（利用人数）：90 名
所在地：〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘4-24-2	
TEL：045-905-2781	
ホームページ： http://www.nichiikids.net/nursery/other/utsukushigaoka/index.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ニチイ学館	
職員数	常勤職員：8 名 非常勤職員：16 名
専門職員	（専門職の名称）： 名
	保育士：19 名 看護師：2 名
	子育て支援員：1 名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	乳児・ほふく室 調理室
	保育室・遊戯室 事務室

③理念・基本方針

<理念>

おもいっきり遊ぶ。
おもいっきり学ぶ。

<基本方針>

日々の遊びや学びの中で、心と体の成長を促し、想像力や自己表現力を引き出し、視野を広げ、『やさしく、つよく生き抜く力』を育みます。

<保育目標>

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 1.すくすく育つ | 健全な心と健康的な体 |
| 2.わくわく遊ぶ | 積極的に学ぶ好奇心
豊かな創造力と自己表現力 |
| 3.いきいき過ごす | 自ら考え行動する自発力
地域で育む思いやりと広い視野 |

④施設・事業所の特徴的な取組

<ニチイキッズ美しが丘保育園の特徴的な取り組み>

1. ニチイの保育テーマである「おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。」、「すくすく育つ・わくわく遊ぶ・いきいき過ごす」をモットーに、子ども達が元気にのびのび過ご

- し、保護者がお迎えに来た際に、笑顔 で引き渡せるよう日々心掛けて保育を行っている。
2. 遊びや学びの中、人との関わりの中で、自分というカラーを見つけ、子ども達の持つそれぞれの個性を大切にしている。
 3. 行事も充実しており、四季折々の行事や日本の伝統的な行事を大切にしながら子ども達が親しみやすいように行い、運動会や発表会、作品展等、日々の園での様子を保護者に見てもらう機会も作っている。
 4. 保育のカリキュラムでは、外部から講師を招いてのリトミック・英語・体操教室や希望者のみプール教室への参加を行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年09月16日（契約日） ～ 2021年03月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2015年度）

⑥総評

【ニチキッズ美しが丘保育園の概要】

●ニチキッズ美しが丘保育園は、株式会社ニチイ学館（以下、法人という）の経営です。法人は1968年に創業され、50年の歴史と共に、ニチイグループとして医療・介護・保育サービス等、多角的事業を確立し、サービスノウハウの実績と共に、人材育成を展開し、社会の変化に沿い総合生活支援企業として人・社会に大きく貢献しています。保育サービスでは、全国に300か所以上の保育関連施設を展開し、神奈川県では13か所の保育施設を運営しています。保育サービスのテーマに「おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。」を掲げ、遊びや学びを通して、子どもたちの心身の成長を促し、創造力・自己表現力、視野を広げることを支援し、子どもたちが「やさしく、つよく生き抜く力」を培うよう、系列園全園で統一したサービスを提供しています。

●ニチキッズ美しが丘保育園の周辺は、都市機能の充実さと閑静な一戸建ての住宅が広がり、近くには自然がいっぱいの「山内公園」や「第7公園」があり、少し足を延ばせば緑豊かな「美しが丘公園・こどもログハウス」もあり、自然環境に恵まれた豊かな場所に位置しています。ニチキッズ美しが丘保育園は、理念、基本方針に沿って子どもを尊重した保育を実施しています。特に、年齢に合わせた「保育計画」を作成し、生涯に亘る生きる力が培われる乳幼児期を大切に考え、成長過程における子どもの体験を通して「遊び」の中から「学ぶ」気持ちを育てています。さらに、保護者と園のコミュニケーションを大切に、今年度8月よりICT化アプリを導入し、保護者との信頼関係、情報の共有化、日常保育を伝える・見える化に努めています。また、保護者の声を大切に、利用者の立場に立った保育を心がけ、安心・安全を基に、保護者にわかりやすい保育、共に育む保育に取り組んでいます。

●ニチキッズ美しが丘保育園は、「すくすく育つ・わくわく遊ぶ・いきいき過ごす」の3つの保育目標を基に、子どもたちが元気にのびのびと過ごし、降園時には保護者へ笑顔で引き渡せるよう、日々心がけて保育を行っています。保育のカリキュラムでは、外部から専門講師を招き、リトミック、英語教室、体操教室、希望者のみのプール教室への送迎等、充実を図っています。さらに、四季折々の行事において、日本の伝統的な行事も大切にしながら子どもたちが親しみやすいよう工夫し、運動会や発表会、作品展等を通して保護者と共に子どもの姿、成長を共に喜び合う機会にしています。

◇特に評価の高い点

1. 【『おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ』カリキュラム】

●二チキッズ美しが丘保育園では、特色ある教育と保育として、リトミック、体操教室、英語教室を位置づけています。リトミックは、月に2回（第1、3水曜日）、外部の専門講師による指導を受けています。年齢にあったリズム遊びや季節の歌等を楽しみながら行い、子どもたちは、遊びの延長で音楽とふれあい、自由に表現することでリズム感や音感、情操、想像力、表現力を豊かに育み、また、集団レッスンでコミュニケーション能力・社会性を身につけています。体操教室は、月に2回（第2、4水曜日）、3歳以上児を対象に、外部の専門講師により、ケガの予防につながる運動体験や、成長期に必要な運動遊びを行っています。訪問調査ではボールを転がす、投げる、キャッチする等、年齢に応じて機敏に運動をする元気いっぱいの子どもたちを観察しました。英語教室は、毎週1回（火曜日）外国人講師によるレッスンを受けます。挨拶や歌、簡単な英語でのやりとりを楽しく学び、月ごとにテーマを持って学んでいきます。見学では、「Make a circle、 Hello Song」の歌に合わせてレッスンが始まり、今月のテーマはClothesであり、Capとpantsの単語を覚え、「This is the Way」の歌を歌いながら着るまねをします。子どもたちは講師の発音、仕草を真似しながらレッスンを楽しみ、最後に、「Good Bye」の歌を元気良く歌って終わります。子どもたちは、新しい発見と普段とは違う大人との触れ合いを通して、おもいっきり楽しむ姿が印象的です。

2. 【豊かな食育計画】

●二チキッズ美しが丘保育園の食育の目標は、「給食をわくわく楽しみにする子ども」、「食べたいもの、好きなものが増えすくすく育つ子ども」、「みんなと仲良く食べられるいきいきした子ども」としています。食育計画は、年齢ごとに1年をⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期に分けて作成し、食育のねらいとして、Ⅰ期（6ヶ月未満児）はお腹が空き、ミルクが飲みたい時、飲みたいだけゆっくりと飲む、安定した人間関係の中でミルクを飲み、心地良い生活を送るとされ、順次、期間の経過、年齢が上がり、Ⅳ期（5歳児）では、色々な食品の種類、働きを知り・食すことで、健康が保たれることを知るとしています。さらに、毎月、食育のイベントを計画し、実施しています。4月サツマイモの苗植え、5月夏野菜の苗植え、6月そら豆の殻とり等、実施し、3月にはお別れクッキングを行っています。給食では、旬の食材を使用した郷土料理を季節に応じて給食に提供しています。また、法人で、2011年ワールドカップ優勝に大きく貢献した女子サッカーチーム「大和シルフィードチーム」に因んで「シルフィードカレー」を開発し、このカレーを給食でも提供し、子どもたちは喜んで食しています。毎月発行されている「しょくいくレター」1月号には、「免疫力を高めよう！」と題し、食生活で心がけたいことや1月の食文化が紹介されています。子どもたちは豊富な食育を、おもいっきり楽しみ、やさしくつよく生き抜く力を育てています。

◇改善を求められる点

1. 【保育の資質向上に向けた取り組みについて】

●二チキッズ美しが丘保育園では、事業経営上の課題として1番目に保育の質の向上を挙げています。保育の資質向上に向けた取り組みは、保育所指導計画の振り返りと保育士自身の振り返りによる保育士の資質向上に委ねられます。そして、保育士の資質向上は、研修によって育成しています。そこで、研修のテーマ「幼児教育10の姿」の研修報告書から読み解くと、「日々、1つ1つの活動が子どもたちの10の姿のどこに当てはまるのか、自分のしたい保育になっていないか、子どもの声を聞き、子どもが自主的に次の活動につながる保育をしていけるようもっと学んで行きたい」と結ばれており、研修によって保育士の動機付けが行われ、資質向上のステップアップが確認できます。保育

の資質向上を図るために、さらに、視野を広げて良い刺激を受ける研修に定期的に参加できる体制、良い研修計画の立案とその計画実行の積み上げが望まれます。ニチイキッズ美しが丘保育園では、常勤職員8名、非常勤職員16名で構成されており、非常勤職員の研修受講に向けて工夫が望まれます。また、非常勤職員の常勤職員化、処遇改善等も工夫されることを期待いたしております。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： ニチイキッズ美しが丘保育園

<評価に取り組んだ感想>

開園から8年が経ち、今回が2回の受審となりました。前回受けたときから職員も数名変わり、初めて受ける職員もいましたが、クラス担任と早番、遅番の職員に分かれ、自己評価を行う中で、改めて園の保育理念や保育目標、方針、目標など振り返るとても良い機会となりました。

今年度はコロナ禍での保育という状況の中で、通常とはまた違った形の第三者評価となりましたが、保護者アンケートで頂いたご意見からは、保護者からの感謝の言葉が、職員が一番のモチベーションアップに繋がりました。一方で、見直さなければいけない改善点に関しては、今後の課題として会社とも相談しながらできる限り改善を行い、取り組んでいきたいと思っております。

<評価後取り組んだ事として>

今回の受審をきっかけに、保護者に配付している『入園案内』の見直しを改めて全職員で行いました。その他にも、見直しの必要なことは改善し、さらに職員間の連携を深め、定期的に振り返りながら、保育理念にある「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」保育を展開していきたいと思っております。

お忙しい中、アンケートにご協力いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。また、長時間に亘り、丁寧な調査・聞き取りに取り組んでくださった評価機関の皆さまに心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり